

SSKS

2023. 9月号

No. 554

# せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



## 将来を見据えた「夏」の体験



【緊張もするけれど、できるようになることはうれしいです】

法人独自のとりくみである『夏季インターンシップ Let's 夏のしごと体験』を7月24日～31日まで開催しました。昨年は感染症対策のため、各事業所最少人数での受け入れでしたが、今年は希望された多くの方に参加いただきました。

初めて働く体験をする学生もいれば、昨年よりも成長した姿を見せてくれる学生もいました。短い期間かもしれませんが、その体験は積み重なり、次の実習へとつながります。一人ひとりが、それぞれの力を十分に発揮できる場所で活躍できることで、その体験はかけがえのない経験となります。将来を見据えた「今」だからこそ、この夏の体験を活かし、次の一歩へとつなげていくことができますように。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



## 夏季インターンシップ Let's 夏のしごと体験 ～ひと夏のチャレンジ…その先の一步へ～

2011年より行っている法人独自のとりくみである「夏季インターンシップ Let's 夏のしごと体験」を今年も開催しました。この事業は、主に武蔵野市在住の特別支援学校高等部2・3年生を対象に、学校の夏休みの期間を活用し、当法人の事業所で「働く・活動する体験」の機会としています。またこの事業を通じて、9月からはじまる実習へのイメージをもっていただくことを目的にしています。現在通所している利用者の中にも体験事業への参加をされ、実習を経て利用につながった方も多くいらっしゃいます。

今年度の参加者は24名で、B型事業所16名、生活介護事業所8名でした。学校とは違う集団のなかに、はじめは緊張しつつも、先輩利用者たちの姿をみて真似をしたり、または教えてもらったりしながら、真剣にとりくんでいる姿がとても印象的でした。

今回はB型事業所でのとりくみについて紹介します。

### 目標は自分で決めます！

インターンシップに参加するうえで「目標」を決めることは重要です。事前に記入していただく調査書には、「職場の雰囲気を知りたい」、「指示を聞き、考えて動けるようになりたい」など、この事業に期待することを書いていただいています。武蔵境ワーキングセンターでは、その目標を学生ご本人と職員で話し合い、決めていきます。Aさんが決めた目標は「報告をする」というものでした。職員もAさんが決めた目標を達成できるように、報告する機会を多く作りました。そのために、資材を少しずつ提供し、報告の機会を多くする方法を取り入れました。

Aさんは自身で決めた目標をしっかりと覚えていて、初日からとてもよく報告をしてくれました。資材の折れを見つけると「これ折れていました」と職員の元に資材を持ってきて報告をし、作業が終わると「終わりました。次は何をしますか」と次の作業の確認をしてくれました。また、毎日その日の振り返りも行いました。今日は何の作業をして、目標は達成できたか。そして、翌日の実習へとつなげていきました。



【手元を見て作業します】

### 先輩利用者とのかかわりの中から

B型事業所では基本的に立ち作業をします。1日通して立ちっぱなしの経験がほぼ初めての学生には辛い体験だと思われます。チャレンジャーで実習をしたBさんは、初日は作業中に座り込んでしまったり、机に寄りかかたりする姿も見られました。しかし先輩利用者からの「あと少しで休憩だよ」、「頑張れ」といった声に応え、最後まで頑張って作業に向かうことができていました。1日の作業が終わると、「疲れた」と言う人が多いなか、Bさん

は新しいことに挑戦したり、他の利用者と作業をやり遂げたりすることで、その表情は達成感に満ちあふれていました。

3日目になると、1日のスケジュールには慣れ、丁合や封入といった作業だけでなく、資材の準備などにも挑戦しました。押したことの無い台車を操作し、資材の運搬をし、空になった箱をつぶし、決められた場所に捨てに行きます。そして、準備ができれば、職員に報告をするところまで、先輩利用者と力を合わせてとりくんでいる姿もみられました。

チャレンジャーでは、ただ作業ができればよいのではありません。職員に、できた作業の報告をする、わからないこと・困ったことを相談するといった姿勢を学んでいきます。それだけでなく、先輩利用者とのコミュニケーションやともに働くことを通して、1日働くための体力、楽しさ、達成感など、さまざまなことを経験する機会になっていると思います。



【初めてのことに挑戦します】

## 作業を離れて、見えてくるもの

朝は、体操から始まります。チャレンジャーでは、ラジオ体操ともう1曲、利用者の希望を聞いて、みんなで踊ることのできるような曲を選びます。その曲を決めるときに、自ら「〇〇！！」と大きな声で希望をいう人もいました。

昼休憩には、先輩利用者から「〇〇先生知ってる？」「何部なの？」と聞かれ、「担任は〇〇先生！」など、学校の話を楽しそうにしている姿もみられました。

作業場面だけ見ていると、慣れた人や環境の中でないと、自分から参加することが難しい、なかなか自分のことを伝えることが難しいように見えていても、それ以外の場面から、自分の意見をはっきりと伝えることができ、他者と積極的にかかわることもできるということを知ることができました。



【興味、関心を引き出します】

## 卒業後の「はたらく」「くらす」を見据えて

今回の夏季インターンシップも多くの方に参加していただき、当法人の事業所を知っていただく機会となりました。ご参加、ご協力いただきましてありがとうございました。

先輩利用者の作業技術や作業量に驚き「ついていけそうにない」と話す方もいました。しかし、作業技術は経験や年数を重ねていくことで身につく、作業量も増えていきます。生活介護事業所を含め、当法人では、作業や活動を提供しとりくみ続けていただくことを通して、「働く力」、「暮らす力」を伸ばしていくことを大切にしています。

この夏の体験を通して「今」とりくむべきことを見つけ、この事業や実習を通してこれから先の卒業後に向けてまた一歩先へ進むことができるようにしていただけると良いと思います。

文責：川島 信敬／木村 美佑



## きょうされん夏季販売へのご協力ありがとうございました

武蔵野東高等専修学校  
武蔵野東学園事務局  
武蔵野東第一幼稚園  
武蔵野東第二幼稚園  
武蔵野東小学校

武蔵野東中学校  
武蔵野東教育センター  
筑波大附属視覚特別支援学校  
東京学芸大附属特別支援学校  
テンミリオンハウス月見路  
その他、個人の皆様

☆衣料・日用品  
総売り上げ 411,360円  
売上個数 214個



☆食品  
総売り上げ 738,640円  
売上個数 577個

## 【とびっくす】～インスタだより vol.2～ #買いもの活動



ご家族のお弁当も、仕出し弁当も おいしい😊

そして お店に足を運んで 数ある商品の中から 食べたいものを選び  
楽しみもあれば、お昼がもっと有意義な時間になりますね🌟 7 事業所  
それぞれが テイクアウトしたり 食べに行ったりと 食べること、買い  
物することを 楽しんでます😊

ワークイン中町の周辺は 特に美味しいお店がたくさんあります🌟 今日  
は職員もプライベートで利用する『ユーカーリ食堂』さんへ。

とっても美味しいだけでなく、スタッフさんの眼差しもあたたかい素敵な  
お店です🌟 利用者の皆さん 黙々と食べて キレイに完食です😊



### 今月の動向 ～令和5年8月～

- 4日(金) (職員研修)ハラスメント
- 8日(火) 常任理事会
- 9日(水) 通所事業所夏季休暇
- 20日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
- 21日(月) (職員研修)生活介護事業所学習会
- 28日(月) 常任理事会
- 29日(火) (職員研修)地域生活支援部学習会  
所長会議
- 31日(木) (職員研修)社会常識応用編

### 来月の予定 ～令和5年9月～

- 6日(水) (職員研修)児童発達支援学習会  
(職員研修)放課後等デイ学習会  
常任理事会
- 10日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
- 11日(月) 後期実習計画会議
- 19日(火) 常任理事会
- 21日(木) 宿泊行事(ワークイン関前)
- 27日(水) (職員研修)コミュニケーション
- 28日(木) 宿泊行事(チャレンジャー)



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50円